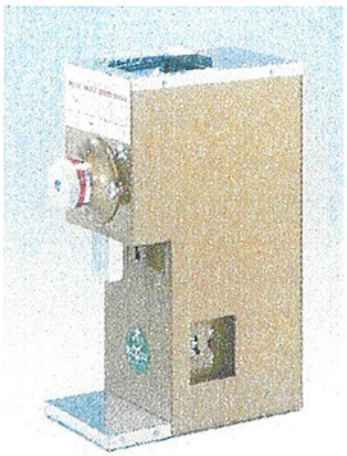
R－300　コーヒーミル

取　扱　説　明　書



**** 目　次 ****

- お使いになる前に　1 ページ
- R-300コーヒーミル各部の名称　1 ページ
- 仕様　1 ページ
- 内部構造　2 ページ
- 挽き目(メッシュ)の設定の仕方　2 ページ
  - メッシュの目安　2 ページ
- ご使用方法　3 ページ
- ご使用上の注意　3 ページ
- 安全装置(オートカット)　3 ページ
- メンテナンス　3 ページ
- トラブル対処法
  - 1 異物が噛んでモーターが過熱し、安全装置が働いた。　4 ページ
  - 2 受缶の満杯等により加熱し、安全装置が働いた。　4 ページ
  - 3 同じダイヤル目盛で挽いているのに、メッシュが粗くなった。　5 ページ
  - 4 ダイヤルの目盛を変えても挽豆の粉のメッシュが変わらない。　5 ページ

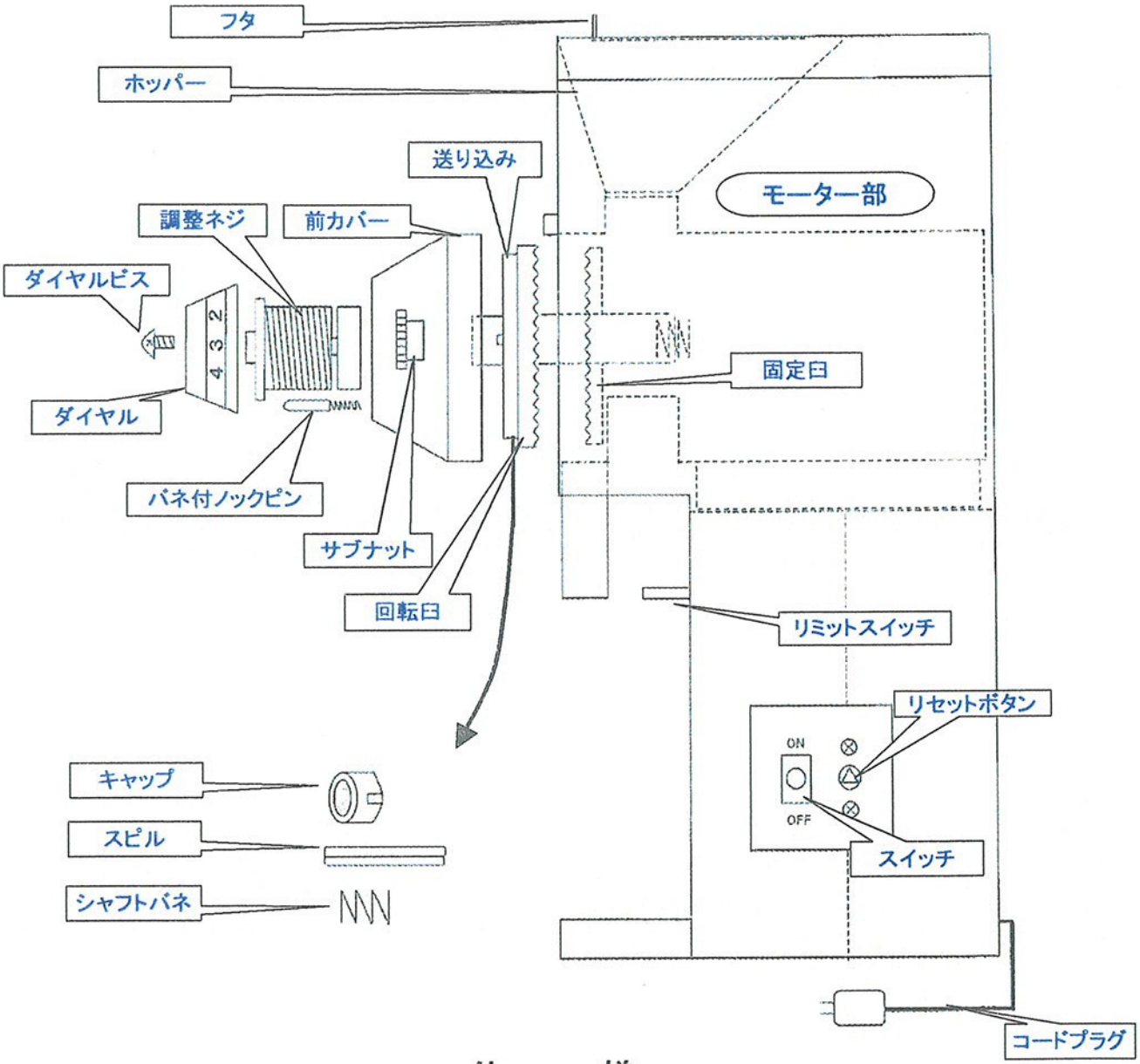
- 保証書
- 無料修理規定

株式会社　富士珈機

お使いになる前に

このたびはフジローヤルオートカットミル「R-300」をお求めいただきまして、
誠にありがとうございました。
この「R-300」は、営業用として簡単に取り扱う事ができるコーヒーミルです。
この取扱説明書は、大切に保管してください。

R-300コーヒーミル各部の名称

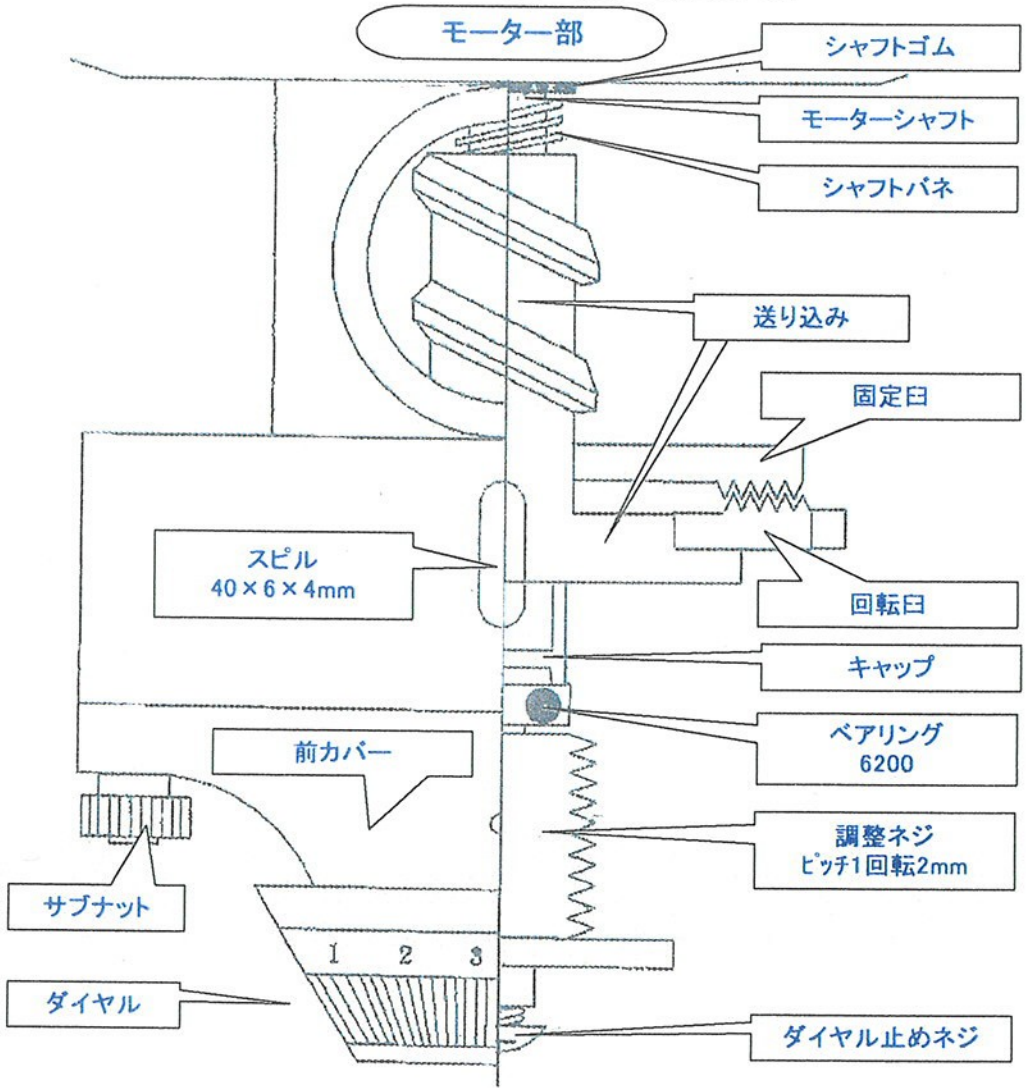


仕　　様

幅17cm	奥行33cm	高さ48cm	重量19kg
モーター　100V	50Hzエリヤ	1420回転/分（1430回転/分） 9.0A（4.0A）	
	60Hzエリヤ	1700回転/分（1710回転/分） 8.2A（3.6A）	
出力360W	定格10分		
粉砕能力	500g/分（目盛り５）		

内部構造

本機を上部より見た場合の断面図です



挽き目(メッシュ)の設定の仕方

メッシュの粒度は、固定臼と回転臼の間隔をダイヤルで調整することにより設定します。

ダイヤルの数字を小さくするほど細挽きに、数字を大きくするほど粗挽きになります。

メッシュの目安

抽出区分	目盛の数字
サイフォン	3～6
ペーパーフィルター	
ネルドリップ	6～8
たきだし	7～10

ご使用上の注意

※ご使用上の際には、下記の注意事項を必ず守り、正しい方法でお取り扱いください。

① 電源コードプラグは、必ずコンセントに直接差し込んでください。
② 湿度の高いところ、高温になるところ、直射日光が長時間あたるところ等に保管しないでください。
③ 感電、火災、やけど等の防止のため、コードやプラグ、本体を水や他の溶液にひたさないでください。
また濡れた手でコードやコンセントに触れないでください。
④ ホッパー内や挽き豆落ち口に指などを入れないでください。
⑤ 使用しないときや、器具の掃除のときは、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。
⑥ ダイヤルを右に廻す時(細かく挽くとき)は必ずモーターを廻してからダイヤルを動かしてください。
⑦ モーター過熱で安全装置が作動しモーター電源が切れた場合は、熱はすぐさめないので
約10分程待ってからリセットボタンを押してください。
⑧ コーヒー豆を挽くときは、必ず先にモーターを廻してから開閉板を開いてください。
⑨ 掃除の時、水洗いは厳禁です。

ご使用方法

① ホッパーおよび受け缶を取り付けてください。
② 電源プラグをAC100Vコンセントに差し込んでください。
③ 電源スイッチを入れ、回転することを確認してください。
④ ダンパーを閉めコーヒー豆をホッパーに入れてください。
⑤ 電源スイッチを入れてから、粒度調整ダイヤルを希望の番号に合わせてください。
⑥ ダンパーを開くとコーヒー豆を挽き始めます。
⑦ 挽き終わりましたら電源スイッチを切ってください。

安全装置(オートカット)

モーターになんらかの原因で負荷がかかったとき、安全装置(オートカット)が自動的に働いて
モーターが止まり、電源が切れます。
オートカットが働いた原因を確かめ、原因を取り除いてリセットボタンを押してください。
※次ページのトラブル対処法参照

メンテナンス

1 随時のメンテナンス

電源を切ってモーターが完全に止まったことを確認します。
挽き豆の落ち口をブラシ等で掃除します。

2 定期清掃とトラブルの対応

年に2～3回は次ページの要領で前カバーを外し、ブラシ等で掃除します。
又、トラブルに対応する時も同じ要領です。

前カバーの取り外し・取付

3 前カバーの取り外し方

本体正面・左右2カ所のサブナットをレンチ等で外し、前カバーを取り外します。

4 前カバーの取り付け方

① 前カバーをセットします。
② シャフトバネにより、前カバーが少し前に出た状態になるので、きっちりはまるように
奥まで手で押し込みます。
③ 片手で押し込みながらサブナットをはめ付けます。
④ 最後にレンチ等で締め付けます。
⑤ 前カバーと本体とがピッタリ密着し、隙間がないか確認します。
※隙間があるとダイヤル調整の狂いの原因となります。

トラブル対処法

1 異物が噛んでモーターが過熱し、安全装置が働いた。

次の手順にしたがって異物を除去を行ってください。

① 電源スイッチを切ります。
② 電源コードをコードをコンセントから抜きます。
③ 前カバーを取り外します。(上記の前カバーの取り外し方参照)
④ 前カバーを外すと回転臼(送り込み付き)が見えます。
⑤ 先端のキャップを抜き取ります。
⑥ 回転臼を時計回りに回しながら抜きます。
この時、スピル(40×6×4mmの鉄片)を紛失しないようにします。
抜けない場合にはホッパーを取り外し、送り込みの後部(2ページのシャフトバネの部分)に
ドライバー等を入れて押し出してください。
また、送り込みが左右に回転しない場合は回転臼の3枚のはねを軽くたたいてください。
(力一杯叩きますと羽が欠けてしまいますので注意してください。)
⑦ 固定臼・回転臼の内部をよく掃除をします。
⑧ 回転臼の送り込みをモーターシャフトに差し込みます。
⑨ 送り込みとモーターシャフトの双方のスピル用のミゾを合わせ、スピルをセットします。
⑩ キャップを差し込みます。
キャップには1カ所切れ込みがありますので送り込みと合わせてください。
⑪ 前カバーを取り付けます。(上記の前カバーの取り付け方参照)
⑫ 充分熱が冷めていることを確認し、後ろのボタン(リセットボタン)を押して下さい。

2 受缶の満杯等により加熱し、安全装置が働いた。

原因を取り除き、10分以上熱をさましてからリセットボタンを押してください。

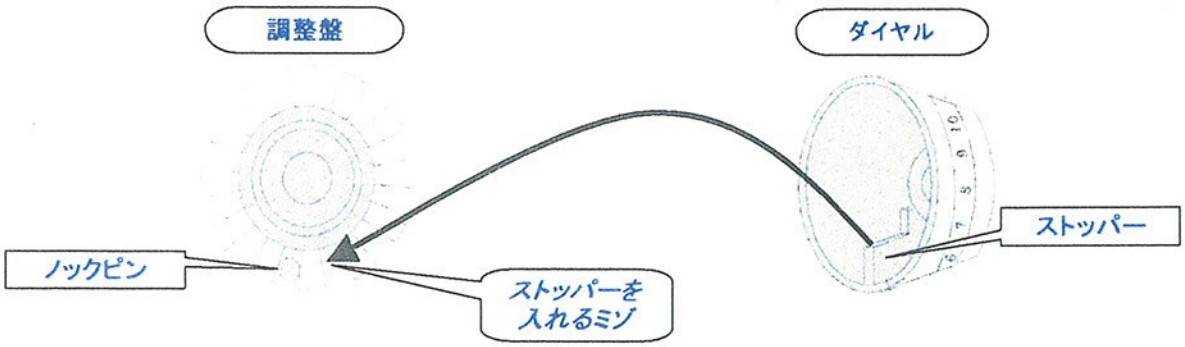
3 同じダイヤル目盛で挽いているのに、メッシュが粗くなった。

次の手順でダイヤル調整をして下さい。

① 前カバーの左右にあるサブナットがゆるんでいないか確認し、ゆるんでいれば充分締め付けます。

② それでも直らない時は、

1. ダイヤルビスを抜き、ダイヤルをはずします。
2. モーターを廻しながら、調整盤を右方向に少しずつゆっくり廻します。
3. 固定臼と回転臼の隙間がなくなって、臼同士が当たる金属音がします。
4. その位置から左に一目盛だけ廻します。(この位置がダイヤルの目盛1の間隔です。)
5. ダイヤルの裏にあるストッパーをノックピンの右横にいれて、ダイヤルを取り付けます。



4 ダイヤルの目盛を変えても挽豆の粉のメッシュが変わらない。

モーターシャフトが錆びたり、傷がついて送り込みとの噛み合わせがきつくなっていることが考えられます。

次の手順でモーターシャフトを磨いて下さい。

① 電源スイッチを切ります。

② 電源コードをコンセントから抜きます。

③ 前カバーを取り外します。(4ページの前カバーの取り外し方参照)

④ 送り込みの先端が見えるので、回転臼ごと引き抜きます。

この時、スピル(40×6×4mmの鉄片)を紛失しないようにします。

⑤ モーターシャフトが露出されるので、シャフトバネも抜き取り、錆・傷・汚れ等があれば目の細かいサンドペーパーや布等で磨きます。

⑥ 送り込みの穴の内側も同様に磨きます。

⑦ シャフトに機械油(エンジンオイル)を少し塗ります。(サラダ油等食用のものは不可)

⑧ シャフトバネの口の小さいほうからモーターシャフトに差し込みます。

⑨ 送り込みをモーターシャフトに差し込み、双方のスピル用のミゾを合わせ、スピルをセットします。

⑩ キャップを差し込みます。

キャップには1カ所切れ込みがありますので送り込みと合わせてください。

⑪ 前カバーを取り付けます。(4ページの前カバーの取り付け方参照)

無料修理規定

1. 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障し、保証期間内である場合には、弊社所定の方法で無料修理いたします。

2. 無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示うえ、ご依頼ください。

3. 保証期間内でも以下の場合は有償保証となります。
   ① 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による、故障および損傷の場合。
   ② お買い上げ後の落下などによる故障および損傷の場合。
   ③ 火災、地震、水害・落雷、その他の天災地変、および公害や異常気圧による、故障および損傷の場合。
   ④ 本書の提示がない場合。
   ⑤ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、または字句を書き替えられた場合。

4. 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または当社までお問い合わせください。

FUJI ROYAL

株式会社　富士珈機